みて・ふれて・かんじて 古墳時代の高島

展示「古墳時代の高島」

藤樹の里文化芸術会館で開催します「古墳時代の高島」（期間：11月17日（金）～12月3日（日））は、高島の古墳時代を「みて・ふれて・かんじて」もらえる展示となっています。文字の史料が少ない古墳時代のことを、発掘調査の出土品などから分析し、当時の社会や文化、地域間の交流などのようすを明らかにしています。

出土琴復元のようす

ここでは、その一部を紹介します。

新旭町の森浜遺跡の琴

新旭町木津の南から琵琶湖岸に位置する「森浜遺跡」では、周辺各地の古墳時代前期から中期の土器が出土しています。このようすから、各地の文物や人々が交流していた集落であるといえます。この遺跡からは、「琴形木製品」が3点出土しています。古墳時代には、琴を弾く人物埴輪が存在することから、琴は葬送儀礼の伴奏楽器として利用されていました。今回の展示では、森浜遺跡出土琴の復元模型を製作しましたので、古代の琴の調べを楽しんでみてください。

鴨稲荷山古墳の家形石棺

高島の古墳といえば「鴨稲荷山古墳」があげられます。全長45mほどの前方後円墳ですが、後円部に造られた横穴式石室には、長さ2・3m、幅1・2m、高さ1・2mを測る巨大家形石棺が安置されています。この家形石棺は、大阪府と奈良県の境にある二上山から運ばれた凝灰岩を使用しています。その重さは3～5tにもなります。展示では、「実物大の模型」と石棺の運搬を体感できる「ミニ石棺曳き体験コーナー」がありますので、ぜひお楽しみください。

家形石棺の模型

「みて・ふれて・かんじる」展示

他にも、鉄鉱石を産出するなど鉄生産の要であったマキノ町の鉄生産関連資料として「鉄鉱石重さ磁力体験」や、新旭町井ノ口の下平古墳群出土の円筒埴輪の展示による「埴輪背くらべ体験」、昭和49年の湖西線開通に伴い安曇川駅周辺の南市東遺跡から出土した渡来系遺物も出品を予定しています。

展示期間中には、講演会「古代の高島と継体天皇」（11月25日（土））も開催されます。展示と講演を通じて、高島の古代ロマンを「みて・ふれて・かんじて」みるのはいかがでしょうか。

問 高島歴史民俗資料館
☎（36）1553

編集雑感

今月号の表紙は「タカシマサトパスツアー」にスタッフとして参加させていただき、その時のようすを撮影したものです。当日は、白鬚神社からスタートし、最後にメタセコイア並木と、市のフォトジェニックスポットを巡りました。市内には、最近流行の「インスタ映え」する場所が、たくさんあります。みなさんもインスタで「#たかP写真館」のハッシュタグを付けて、お気に入りの「たかしま」を投稿してくださいね！（Y）

広報たかしま
平成29年 11月号 No.214
発行▼高島市　編集▼政策部企画広報課
〒520-1592 滋賀県高島市新旭町北畑565番地
☎0740（25）8000㈹
http://www.city.takashima.lg.jp
t-info@city.takashima.lg.jp

R80 古紙パルプ配合率80%再生紙を使用
VEGETABLE OIL INK